



所 管	医療福祉部社会福祉課		
担 当	島崎	問い合わせ	0573-26-2111

報 道 機 関 各位

分身ロボット「OriHime」を活用した移動困難者就労支援事業の実証実験について

市では、障がいや病気などにより移動が困難な方の就労機会の拡大と社会参加の促進を図るため、分身ロボット「OriHime」を活用し、観光分野や福祉分野における就労モデルの構築し、新たな就労支援事業の展開を目指しています。

このたび、就労者の負担や計画的な実証、将来的な展開などを考慮し、就労先として「恵那峡遊覧船」と「合同会社おひさま」を選定、「OriHime」を遠隔操作するパイロットも決定し、下記の通り実証実験を行いますので、ぜひ取材くださいますようお願いいたします。

記

1. 事業内容

(1) 実証期間

令和8年9月11日（金曜日）～令和8年11月末

事業開始日：令和8年9月11日（金曜日）

①合同会社おひさま：午前9時半～

②恵那峡遊覧船：午後2時の運行に合わせ、午後1時半～

(2) 実証場所と業務内容

①観光分野：恵那峡遊覧船

実施日：毎週土曜日・日曜日の午前1回、午後1回の計2回

1回約30分程度

内 容：乗船案内や見所案内を中心とした接客業務など

②福祉分野：合同会社おひさま

実施日：毎週火曜日・水曜日、両日とも午前9時半から予定

1回約1時間程度

内 容：デイサービスレクリエーションへの参加支援、利用者との交流など

③イベントの参加

実施日：10月24日（土曜日）開催予定のまちなか市への参加を予定

内 容：商品やイベントの案内、販売支援、声掛けなど

（3）パイロット

市内在住の身体障害者3人

（4）取材について

9月11日（金曜日）の午後1時半から、恵那峡遊覧船乗り場での様子が取材いただけます。詳細が決定しましたらお知らせします。

2. 検証内容

（1）OriHimeを活用した遠隔就労業務の定着、業務適性

（2）運用負担、導入コスト、人材活用方法などコスト的な検証

3. 業務委託先

株式会社オリィ研究所（東京都中央区）

4. 今後の予定

実証事業を通じて事業の有効性および継続可能性を検証。結果を踏まえ、本格導入の可能性や他分野への展開について検討します。